

913.5

八

全

腹の存名所圖會 全

山東庵主の骨董集とありかゝるは
 窓乃の稿と脱せざる暇中名所圖繪乃
 作と蠟と燭と僅よその趣向とた
 作ありと補綴せよといふはかたも
 かいとと固辭をいふもゆるさる種に
 へまゝかゝる猪牙舟のらゝりて補して

骨董集
 猪牙舟
 補綴

京山 識



Handwritten text in the top left corner, partially obscured by a tear in the paper.



Handwritten text located to the right of the first illustration.

Vertical column of handwritten text on the left side of the page.



Handwritten text to the right of the second illustration.

Handwritten text located between the second and third illustrations.



Large block of handwritten text at the bottom right of the page.

Small block of handwritten text at the bottom left of the page.



うたれ 接し

まろりうつろ

うたれ 接し

うたれ 接し

うたれ 接し



うたれ 接し

うたれ 接し

うたれ 接し

うたれ 接し

うたれ 接し

京山たりてももるはしはぬ次ひるあ
 系なり一京元をこ小で入ま丁二丁目
 いせや忠助 ぶねいなり一もきさるや
 年左の 芝林の主人やまは
 ○それいさてあさのやさのちね山の
 林のヤ一ろとまごてかいのぬありぬの
 よろけふあんさくらくの太本あり
 いあゆん極小甲ううううううう
 あまこむれあまこむれあまのぬのふ
 けらあぬあまこむれあまのぬのふ
 むせろまこむれあまのぬのふ
 たのまこむれあまのぬのふ
 ぐてあいのぬのふあまのぬのふ



まあん極小甲ううううううう
 人もゆれとらふれあまのぬのふ
 いっれてよらわらあまのぬのふ
 まあん極小甲ううううううう
 今まこむれあまのぬのふ
 今まこむれあまのぬのふ
 いらふふりてはふらうひて
 ひはとふふいとやをを又い
 られまをまきめあいの
 ぬのふ



老の板
 こと
 こと



穴稻荷大明神

正位 穴稻荷大明神

あなごのあなごがにやふいふの
りまをわけてまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの

あなごのあなごがにやふいふの
りまをわけてまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの



あなごのあなごがにやふいふの
りまをわけてまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの

あなごのあなごがにやふいふの
りまをわけてまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの

あなごのあなごがにやふいふの
りまをわけてまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの
まうのまうをうとるの



Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese calligraphic style, arranged in vertical columns. The text is dense and occupies the upper portion of the page.



Handwritten text in a cursive script, continuing from the top page, arranged in vertical columns.



Small handwritten text or a signature located in the bottom left corner of the page.

一人の村ハ
 今もあつち
 のおちんちん
 してまうた
 ありがさき
 神志と忠本と
 又感じろふ
 甲七人のえ
 ほうもさ
 石の
 天のふ村
 あり

水
 目とあつち
 小町とあつち
 耳とあつち
 又まわつち
 びりあつち

大光明神の神木

忠木



一人の村ハ
 今もあつち
 のおちんちん
 してまうた
 ありがさき
 神志と忠本と
 又感じろふ
 甲七人のえ
 ほうもさ
 石の
 天のふ村
 あり



一人の村ハ
 今もあつち
 のおちんちん
 してまうた
 ありがさき
 神志と忠本と
 又感じろふ
 甲七人のえ
 ほうもさ
 石の
 天のふ村
 あり

丁大蛇丸のさきりてつらつら
 かきつておらんことをおののち
 大木の根のまきおののち
 たてこれよかとのおののち
 大まきあつてあつておののち
 あつておののちのちとわり
 ついてありおののちとわり
 けしつて作者のちとわり
 大まきおののちとわり
 ちとわりおののちとわり
 悪とのちとわりおののち
 善とのちとわりおののち
 人のちとわりおののち
 ちとわりおののち
 よしとわりおののち
 町人のちとわりおののち



おののちとわり
 大まきおののち
 ちとわりおののち
 よしとわりおののち
 町人のちとわりおののち

作者これとわり
 ちとわりおののち
 よしとわりおののち
 町人のちとわりおののち

明德のあ史



作者これとわり
 ちとわりおののち
 よしとわりおののち
 町人のちとわりおののち

三 都 書 林

京 大 東 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 板 都 通 油 川

吉野屋 勘共衛
 敷賀屋 九兵衛
 綿原屋 喜兵衛
 須原屋 茂兵衛
 山城屋 佐兵衛
 出雲寺 萬次郎
 和泉屋 市兵衛
 山崎屋 藤兵衛
 森屋 治郎兵衛
 山崎屋 清七
 藤岡屋 慶次郎 版

京傳作 京山補

○とくしと丸色をさす下牙まのさる
 りのあひとくくを
 ○きかろんま入一まう十二せん松まのやんを
 用ひの上ののくを丸む
 ○志かごまを丸むをこ入まみぐ
 ○京山てんろく王印一字白文を中失十を
 羽印白文屋々殊五をろう石上やり朱白も
 一子まをうまうり白九ト朱七ト



弦川園直画

京のうさぬで
 たみかーとも
 びらういとも
 林たのとも
 けさうかの
 ありと
 ちんた

